

みんなで遊び・みんなで学ぶ

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ（小松由美子会長）が主催する特別支援学級合同体験旅行が10月25日、鷹島モンゴル村で行われ、市内小中学校の特別支援学級に通う児童・生徒が招待されました。

同クラブの新世代委員会では、青少年育成活動の一環として同体験旅行を毎年実施しており、今回で30回目となります。

この日は、児童・生徒40人と引率者29人が参加。さわやかな秋晴れの中、アスレチック遊具や動物たちとの触れ合いを楽しみ、施設内の広場ではグラウンドゴルフに熱中するなど、子どもたちの笑顔が溢れる楽しい一日となりました。



いざというときのために

消火器操法大会

第1回消火器操法大会（松浦市消防本部主催）が10月26日、文化会館屋外集会場で開催されました。

この大会は、初期消火に最も効果的な消火器の操作方法を習得し、併せて防火意識の向上と自衛消防組織の強化を図るために、屋内消火栓操法大会と交互に開催されています。

今大会には男女合わせて19チームが参加。2人1組で出火場所の発見・通報、避難誘導を行い、水消火器を使って標的を倒すまでの消火作業の時間や正確性を競いました。上位の結果は次の通りです（敬称略）。

【男子】①九州電力(株)松浦発電所 ②住商エアバッグ・システムズ(株) ③(株)ニッチツ機械本部

【女子】①近江鍛工(株)長崎工場 ②今福保育園 ③養護老人ホーム海光園



災害時に備えて

（社）長崎県LPガス協会松浦支部

松浦市と（社）長崎県LPガス協会松浦支部（玉城昭支部長）は10月24日、市役所で「災害時におけるLPガス供給に関する協定」を締結しました。

近年では、自然災害や施設事故がもたらす国民生活への影響が大規模化・長期化していることもあり、災害時への十分な備えが急務となっています。

この協定は、災害時に開設される避難所などにおいて、必要なLPガスが迅速かつ的確に供給されることにより、被災者の生活を支援していくために結ばれたものです。

また、同支部は、学校や公共施設のガスコンロの入れ替えを無償で行うなど、地域への社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



みずほ号がやってきた

福島町 優愛の会

福島町でボランティア活動を行っている優愛の会（永田俊子代表）が10月25日、（財）みずほ教育福祉財団（森信博理事長）から配食用小型電気自動車（通称：みずほ号）の贈呈を受けました。

同財団では、高齢者福祉活動を支援するための事業として、高齢者向けの配食サービスを行うボランティア団体の中から毎年10団体に同電気自動車を寄贈しており、今年で9回目となります。

永田代表は「私たちの活動にこのようなご支援をいただき、たいへんうれしく心から感謝しています。地域の福祉を担うものとして、心のつながりを大切に、皆さまの期待に応えられるような活動を続けていきたい」と話していました。



自分の考えを堂々と発表

小中学生弁論大会

松浦ライオンズクラブ（山本惇会長）主催の第24回小中学生弁論大会が11月3日、文化会館で開催され、小学生の部で本間史紘君（今福小6年）が、中学生の部で立山咲さん（調川中3年）が最優秀賞に輝きました。

市内小中学校からの268点の応募の中から、各学校での事前審査で小学生12人、中学生7人が選ばれ、この日は将来の夢や願いなどをテーマに19人が発表しました。

本間君は「世界平和のために」と題して、世界の国々や人々が協力し合って、平和な未来を作っていけるような世の中にするために「国連」で働きたいと将来の夢を語り、立山さんは「15年分の…」と題して、突然亡くなった祖母から受けた

優しさを、今度は自分を支えてくれるすべての人に返していきたいと力強く誓いました。



未来を担う幼い命を救う

人命救助表彰

濱野孫広さん（星鹿・青島、56）に11月8日、松浦市消防本部の諸石消防長から人命救助の表彰状が贈られました。

10月8日の午後、青島港内の岸壁を歩いていた幼児が、つまづいた拍子に海へ転落。対岸で作業をしていた濱野さんがこのことに気付き、一目散に現場へ駆け付け海に飛び込み救助しました。

濱野さんは、「救助に向かうことは、人として当たり前のこと。岸壁近くにいた住民を呼び寄せて水中で抱きかかえる幼児を手渡し、無事に海から引き上げられた瞬間、たいへんうれしく何よりホッとしました」と話していました。



「第九」歌い祝う

松高 50 周年記念式典

松浦高校（北浦剛資校長）の創立50周年記念式典が10月30日、同校で行われました。

式典では、北浦校長が「地域からより愛され、信頼される学校として一層努力していく」とあいさつ。式典後の記念公演では、全校生徒311人と教職員が昨夏から練習を重ねてきたという、混声四部合唱によるベートーヴェン作曲の交響曲第9番をドイツ語で披露。合唱が終わると、観客は総立ちで拍手を送り続けました。



開館 10 周年を迎えました

生涯学習センター開館 10 周年記念行事

生涯学習センター（きらきら21）の開館10周年を記念したイベントが11月3日、同センターで開催されました。

記念式典では、友広市長が「今後もさらに地域と共に発展する施設でありたい。これまでの10年間を支えてくれた方々に感謝します」とあいさつし、開館以降、最も多く図書館の本を借りた市民に対して表彰が行われました。また、この日は、昆虫写真家の栗林慧さんによる「小さい命を見つめて」と題した記念講演が行われました。映像を交えながらの講演に、客席は小さな昆虫たちが創る独特の世界観に引き込まれていました。このほかにもおはなし会やミニコンサートがあり、同センターは多くの来場者でにぎわいました。

